

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

東川崎防災ジュニアチーム

平成8年に市内第1号の『防災ジュニアチーム』として地元中学校の有志により結成され、防災訓練や福祉活動等をおこない地域に貢献しています。これらの活動を通じて地域・隊員同士の絆を深め、将来の地域での防災の担い手として活躍できる人材を育成しています。

●活動内容

ジュニアチームへの訓練指導は、中央消防署と協力して、地元消防団がおこなっています。さらに、中学校・福祉施設等と連携をおこない訓練しています。

毎月の基本訓練では、防災に関する基本的な知識の習得、小型動力ポンプを活用した消火訓練、AED・ケガの手当てといった救急講習、ロープ結索や担架搬送といった救助訓練等、基礎となる訓練をおこなっています。

また、イベント訓練として、毎年夏に1泊2日の宿泊訓練、福祉施設と協力して災害時要援護者の支援方法や地域の高齢者宅を訪問しての防災啓発、各種防災イベントにも参加しています。



●宿泊訓練

平成24年度の宿泊訓練は、消防署に泊まってみたいとの隊員の希望により、中央消防署で実施されました。

消防署に集合した隊員は、消防職員の業務内容の説明を受けた後、消防職員とともに車両点検をおこない、放水・救急・救助訓練、はしご車・起震車・煙体験等の実科

訓練を夕方までおこない、夜は消防署内の見学、消防職員からの講話・体験談などを聞き就寝。翌朝は、災害時を想定し非常食で食事をとり、消防設備の講習を受講し消防署での一日体験が終了しました。その後、市役所にある消防管制室・防災展示室の見学、津波に関する講習を受け、大阪ガス主催の訓練に参加し、火について学びました。

今回の宿泊訓練では、消防職員の厳しい指揮により訓練を受けましたが、それに負けず大声を出し積極的に取り組む姿を見ると、将来、街の防災リーダーとして活躍してくれると更に希望が膨らみます。

●これからも

毎年新たな訓練を立案し、子どもたちが楽しく防災や福祉を学べるように工夫し、子どもたちが通っている中学校で訓練成果を披露して、他の子どもたちに防災への刺激を与えられるよう訓練を考えていきます。

これからもこの活動を継続し、この先起こるかもしれない災害時に、被害を軽減する力、地域の安全をけん引する力を育てたいと思っています。

(東川崎ふれあいのまちづくり協議会

防災部会 部会長 後藤 実)

